

施設名	船橋市アンデルセン公園
指定管理者	公益財団法人 船橋市公園協会
所管課	都市整備部 公園緑地課
評価対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
所管課評価責任者	都市整備部長 伊藤 敬一

総合評価	S
------	---

単年度評価	業務状況(支障なし)			普通以下(改善・見直しの必要有り)	
	優れている	普通	指導事項有り (一部)	指導事項有り	不履行有り
				(多数)	業務の見直し要す
採点(S、A～D)	S	A	B	C	D

単年度総合評価	適合			非適合	
ランク評価(S、A～D)	S	A	B	C	D

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H27年度)(単年度)

評価大項目 評価中項目 評価細項目(視点)	記述欄	所管課 評価	指定 管理者 評価
I 公園の基本運営について	記述欄		
1 利用者を増やし船橋の良さを内外の人にPRするための拠点施設としての活用について <ul style="list-style-type: none"> ・ 各ゾーンや施設の特徴等を生かした事業を展開した。 ・ 利用者の増加につながる事業を展開した。 ・ 船橋の拠点施設としての事業を展開した。 ・ アンデルセン公園の設置趣旨に沿った事業を展開した。など 	・各ゾーンにおいて、施設の特徴を生かし、それぞれ違った楽しみ方を市民に提供し、本市を代表する施設の指定管理者として自覚をもって事業展開し年間を通じて四季折々の花々で彩られた公園づくりのため『さくらまつり』『ひまわりまつり』『コスモスまつり』『チューリップまつり』を開催した。 ・テレビや新聞等に取り上げられるよう企画し、マスコミに情報提供を行った。また、トリップアドバイザーで国内でテーマパーク部門3位、アジアで10位に認定されたことにより新聞等172件で取り上げられ、全国各市町村からの視察を積極的に受け入れた。 ・デンマークより直輸入したグッズを販売したり、デンマークコインを使ったキーホルダーをクリスマス夜間開放時のイベントの景品として配布する等アンデルセン公園の設置趣旨に沿った事業を展開した。	S	S
2 緑化事業(花とみどりのまちづくり)、国際交流等、市の施策と連携した事業展開について <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民や市などとの連携を図った事業を展開した。 ・ 緑化の推進を図る事業を展開した。 ・ 国際交流など市の施策と連携した事業を展開した。 ・ アンデルセン公園の特色を活かした事業を展開した。など 	・市民まつり、天沼弁天池公園でのジャンボ市など市が主催する催事に積極的に参加したり、市民大学の講座を行ったり、まちかどフェア『アンデルセン公園賞』の提供を行う等、市などと連携を図った事業を展開した。 ・花と緑の教室、花・緑ウォッチング等都市緑化推進イベントを開催したり、市の花であるヒマワリを20,000株を植え『ひまわりまつり』を開催したり、ハンギングバスケットコンテストを行う等緑化の推進事業を積極的に展開した。 ・園内ではデンマークから輸入した商品を販売するなど独自の国際交流を展開していた。	S	S
II 運営等の経費について			
1 経費の節減について <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営方法の工夫により、経費の節減を図った。 ・ 維持管理方法の工夫により、経費の節減を図った。 ・ 計画的な雇用により、経費の節減を図った。 ・ 総括的な観点での経費の節減を図った。など 	・コスト削減委員会により現場巡視を行い、経費の削減について検討を行い、事務管理経費や運営経費の見直しを行う等、経費の削減を図った。 ・計画的な雇用を行ったり、近隣より臨時職員を雇用するなど経費の削減を図った。 ・企業との連携により花壇を設置したり、公園内の花壇管理をボランティアで行うなど、経費の節減を行った。	S	S
2 経費の構成・配分等について <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者へのサービス向上のための経費を配分した。 ・ 利用者の安全確保のための経費を配分した。 ・ 従事者の雇用に配慮した経費を配分した。 ・ 総括的な観点での経費の構成であった。など 	・車いすの無料貸出、ゴールデンウィーク期間の仮設トイレ設置、AEDの設置などの利用者へのサービス向上、フィールドアスレチックなどの施設点検を毎日実施、毎月放射線量測定を協会職員が実施し、情報提供する等、利用者への安心安全な施設提供を考慮し経費を配分した。 ・団体利用者へのPR、イベントの開催PRなど、利用者の増加につながるよう経費を配分した。	S	S

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H27年度)(単年度)

評価大項目 評価中項目 評価細項目(視点)	所管課 評価	指定 管理者 評価
<p>Ⅲ 維持管理について</p>		
<p>1 公園施設(建築物・動植物以外)の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検・清掃は施設ごとに定め実施した。 ・ 点検や巡回等により、施設の供用の可否を判断した。 ・ 水を利用した施設の水質等の検査を必要に応じ実施した。など 	<p>・公園施設の清掃は、利用者が快適に利用できるよう、ベンチ、テーブル、手摺り、広場等、園内行き届いた清掃が行われた。 ・公園施設の点検は、施設点検班により木製遊具・遊戯施設の日常点検は日々行ったり、アスレチック等の遊具については、専門業者により保守点検を行い、修繕箇所があった場合は迅速に対応した。 ・木製遊具・木製施設等の使用期間を延ばすために、防腐塗装を行った。 ・水の施設については、滅菌消毒を行う等、水質管理が的確に行われていた。</p>	<p>S S</p>
<p>2 建築物及び付属施設の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検・清掃は施設ごとに定め実施した。 ・ 点検や巡回等により、施設の供用の可否を判断した。 ・ 床、窓、照明器具等、適正な頻度で清掃を実施した。など 	<p>・公園施設同様、利用者が快適に利用できるよう建築物(コミュニティーセンター、童話館、子ども美術館等)のこまめな清掃を行っていた。 ・屋外トイレについても利用者が快適に利用できるよう毎日巡回し清掃した。 ・床窓等の清掃も定期的に行っていた。</p>	<p>S S</p>
<p>3 植物(地被類・花壇含む)の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除草は、除草剤を使用せず人力で実施した。 ・ 害虫の発生は、定期的に監視し、剪定防除に努めた。 ・ 害虫駆除で薬剤使用の際、利用者に支障が無いよう実施した。 ・ 施肥、剪定や立入り禁止など植物の状況に応じ育成に努めた。など 	<p>・利用者の安全面から、除草剤は一切使用せず、除草を人力で行った。 ・害虫を早期発見するため巡回を定期的に行っていた。 ・園内にある、絶滅危惧種(キンラン、ギンラン等)の保護に努めたり、市の花であるカザグルマの増殖に努めた。 ・園内花壇を景観にあわせデザインし、草花を植栽管理していた。</p>	<p>S S</p>
<p>4 動物の育成管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物ごとに定期的に検診等を実施した。 ・ 緊急時も含め検診等できる体制を整え、動物の育成に努めた。 ・ 保護等必要な動物には、利用者立入りの制限策を実施した。など 	<p>・動物に「触れることは、幼児や児童にとって情操教育に役立つものであるが、反面、動物自身のストレスによる体調不良が心配される。動物の生活環境などを十分に観察し、育成管理した。 ・獣医とも連携し、定期的に検診を行い適正な育成に努めた。また、緊急時の往診に対応可能な体制を整えた。 ・法定伝染病の検査、予防接種など適切に行っていた。 ・動物の体調の異変の兆候が無いかなどを確認しながら管理していた。</p>	<p>S S</p>
<p>5 備品の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備品ごとに使用頻度や年数を考慮した点検を実施した。 ・ 点検等により、備品の使用の可否を判断した。 ・ 備品台帳を作成し、適正な管理に努めた。など 	<p>・利用者が使用する備品もあることから、使用前後の手入れや点検など適正に行っていた。 ・管理作業など使用する備品についても、丁寧に取り扱っていた。 ・事故につながるボートや工具などは、使用前、使用後に点検を実施した。</p>	<p>A A</p>

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H27年度)(単年度)

評価大項目 評価中項目 評価細項目(視点)	所管課 評価	指定 管理者 評価
<p>6 共通事項(1~5について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 不良施設等は、使用を中止し、安全対策を行い、市に報告した。 施設等の撤去・移設・新設については、事前に市の承認を得た。など 	S	S
<p>7 用地の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地の保存(境界、汚損防止)に努めた。 土地の形状変更は、事前に市の承認を得た。など 	A	A
<p>8 廃棄物処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃等で発生した廃棄物は、適正に処理した。 資源廃棄物のリサイクルを図った。など 	A	A
<p>IV 施設運営について</p>		
<p>1 利用者の平等な利用の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの苦情等はなかった。 特定の団体等を優遇するなどの差別は行わなかった。など 	A	A
<p>2 利用者へのサービス向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施したサービスについて、利用者から良い反響があった。 アンケート等を実施し、サービス向上に活用した。 アンケート等で苦情件数が減った。(満足度が上昇した。)など 	S	S
<p>3 利用者等の安全確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故防止のための対応策に沿って実施した。 管理上の不備による怪我等の事故は発生しなかった。 上記以外の事故(利用者の不注意など)の事故件数が減少した。など 	S	S
<p>4 利用の促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加につながる事業を実施した。 イベント等の事業について、利用の促進につながった。 事業による効果(計画集客数など)が達成できた。など 	S	S

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H27年度)(単年度)

評価大項目		所管課 評価	指定 管理者 評価	
評価中項目				
評価細項目(視点)				
5 地域との共生や地域への還元について	・ 地域雇用に配慮した雇用を行った。	・地域雇用を推進し、近隣地域から臨時職員を雇用した。 ・来園者が多い日においては、民間駐車場と連携を図ったり、交通整理員により車両誘導を行い、周辺道路の渋滞緩和に努めた。 ・周辺地域の公的な行事に参加したり、市内公共施設の体験学習を受け入れたり、市内福祉施設から草花を購入するなど周辺地域に対し具体的な還元策を実施した。	A	A
	・ 駐車場誘導を工夫し、渋滞による周辺地域への影響を減少させた。			
	・ 周辺地域に対し、具体的な還元策を実施した。など			
6 個人情報の保護について	・ 個人情報の管理(漏えい防止、図書等の管理)を徹底した。	・漏えいや苦情などは、一切発生しなかった。また、従事者への周知徹底が図られており、情報の保管も徹底していた。 ・個人情報管理者としての責務が十分機能していた。	A	A
	・ 個人情報に関し、苦情や事故は発生しなかった。など			
7 防犯・防災対応について	・ 利用者の安全確保のため、巡回等を適宜実施した。	・公園内の盗難や不審者などにも目を配らせ、従事者間で連絡体制を確保しつつ巡回し、該当するものはなかった。また、天候の変化を把握し避難誘導を行うシステムを導入し雷の発生など利用者に情報提供し、注意を呼びかけていた。 ・台風通過後は、被災情報の市への連絡とともに利用者が安全に利用できるよう、園内の巡回清掃を行っていた。 ・台風・強風による樹木の枝折れの支障の処理を速やかに行っていた。	S	S
	・ 施設等の損傷防止のため、防犯対策を実施した。			
	・ 台風・雷雨等の気象・防災情報を利用者に提供した。			
	・ 台風等による災害の際、事前事後の対応を適切に実施した。など			
V 事務管理について				
1 業務を行うにあたっての従事者(有資格者含む)の配置について	・ 管理運営に適した従事者を配置した。(点検、動植物、アトリエ等)	・総括責任者のみならず、各業務に合わせて責任者を配置し、また、各業務に適した資格取得者や研修修了者などを配置していた。 ・樹木医、公園管理運営士、動物飼育経験者、アトリエ関連有識者など、業務に合わせて配置していた。 ・イベント開催にあたっては、入園者にも配慮した人員配置をしていた。	A	A
	・ 管理水準に必要な従事者を配置した。(サービス提供、事故防止等)			
	・ 各施設や事業ごとに責任者を定め業務を実施した。など			
2 繁忙時と通常時の従事者の雇用について	・ 繁忙期などの人員が確保できる体制(人員数、事務分担等)であった。	・来園者を想定し、従事者の確保や配置を計画的に行っていた。 ・登録制により、繁忙期の臨時職員などの雇用確保に努めた。 ・効率的に配置することにより、従事者数の抑制を図った。	A	A
	・ 効率良く円滑的に運営できた体制(人員数、事務分担等)であった。			
	・ 通年(繁忙期、閑散期など)を通し、計画的に雇用ができた。など			
3 従事者の教育と研修について	・ 管理運営に必要な資格取得の推進や研修を実施した。	・定期的に従事者に対し研修を行っており、公園を管理する上で必要な研修等にも従事者を参加させ、人材育成に努めている。	S	S
	・ 接遇や企画力などの向上に向けた研修を実施した。			
	・ 利用者の事故防止や発生時に対応できる研修を実施した。など			
4 事故等の緊急時の対応について	・ 利用者の怪我等の事故発生時の際、迅速な対応ができた。	・幼児や児童が利用するアスレチックや水を利用する施設があることから、看護師を配置し、状況によっては近隣医療機関に協力を依頼できる体制をとっている。 ・事故等が発生したときには、従事者間で情報が共有できるよう体制を確保した。	A	A
	・ 事故防止や発生時の際、連絡体制を基に対応できた。			
	・ 台風や異常気象、降雪の際、円滑かつ的確に対応できた。など			

船橋市アンデルセン公園 指定管理者 モニタリングシート (H27年度)(単年度)

評価大項目		所管課 評価	指定 管理者 評価	
評価中項目				
評価細項目(視点)				
5	従事者に対する労働条件等について	・臨時職員も含めた雇用体制を確立していること、雇用条件を提示し雇用する等、雇用者と従事者間の信頼関係は確保されている。	S	
	・ 従事者の労働条件は適正であった。(臨時職員等全従事者)			S
	・ 従事者への福利厚生などの労働環境は適正であった。			
	・ 雇用条件などの雇用体制を明確にして雇用了。など			
VI その他				
1	上記項目以外について	・公園の維持管理・事業計画書で企画していた事業などは計画通り実施されていた。 ・オーデンセ在住の観光コーディネーターを招く等、デンマーク商品販売について更なる事業協力等の連携を図った。 ・企業花壇の誘致など企業との連携に勤めた。	A	
	・ 維持管理、運営、事務管理など。			A
	・ 事業年次計画の達成度(差異の有無やこれに伴う効果の良否など)			
	・ 指定管理者が主体となり企画や提案、実施した事業など。			